

飲酒運転撲滅宣言企業 株式会社 G-CROSS(ジークロス)



○ 株式会社 G-CROSS 様の紹介

株式会社G-CROSSは車と保険のトータルサポーターとして、常にお客様の期待の一步先を行き、同じ気持ちで道を作り、一步下がってお客様の歩みを支えられるよう全力で取り組んでいます。

- ・新車・中古車販売、整備、点検、事故車両対応などを担当している車両事業部
- ・車をはじめとする各種損害保険、生命保険を担当している保険事業部
- ・福岡市内最大級の保有随伴車にてお客様を送迎している運転代行事業部

この3つの事業部をしっかりと機能させて、お客様のために何が出来るか。

いつもスタッフみんなで知恵を絞って考え続けています。

これからもお客様のために、お役に立てる企業であるために努力をしております。



企業HP : <http://g-cross.co.jp/index.html>

住所 : 那珂川市片縄8-132 (TEL: 092-564-2227)

○ 飲酒運転撲滅に向けた取組事例

- ① 飲酒運転撲滅計画を策定し、社員に対する研修等を実施しています。
- ② 組織的な飲酒運転撲滅の管理体制を実施しています。
- ③ 従業員等への広報啓発活動を行っています。
 - ・職員安全運転研修での飲酒運転撲滅教育。
 - ・年1回の社内BBQ大会での飲酒運転撲滅啓発。
 - ・事業所内での飲酒運転撲滅のポスター、ステッカー等の掲示・貼付。
- ④ 従業員等が業務上飲酒運転を防止するための取組を実施しています。
 - ・乗務前のアルコールチェッカーでの検査の実施。
アルコールチェッカーは毎日出勤後本部カウンターにて使い捨てストローを使用し、チェック。
アルコールチェッカーは直接PCにデータがいくので、ドライバー毎に記録。
- ⑤ 従業員等への社内研修を実施しています。
 - ・従業員に対して飲酒運転撲滅に関する研修を開催。
2016年7月にASKの飲酒運転防止インストラクターの資格を取得した社員を講師として社員全員に対する研修を実施し、その後も定期的に実施。
- ⑥ その他の取組
 - ・Gラビットカップ with はあとスペース チャリティゴルフコンペを開催し、趣旨に賛同して御参加・御協賛いただいた参加者様・企業様と飲酒運転撲滅意識の向上を図り、参加費による御寄付やワンオンチャレンジホールによる御寄付をNPO法人はあとスペース様に贈呈させていただいています。
 - ・NPO法人はあとスペース様が主催される『飲酒運転撲滅セミナー(しゃべり場)』にも、社員や運転代行スタッフも参加し、共に学んでいます。
 - ・はあとスペース様の街頭啓発活動にも、保護司の皆様と一緒にできる限り参加しています。
 - ・運転代行を利用される方は少なくとも飲酒運転撲滅に対する志をお持ちの方だと考えられますが、御家族やお知り合いにもそのお気持ちを広げていただくために、チラシやカードなどで、啓発活動を行っています。



研修でアルコールの基礎知識について学びます



乗務前にアルコールチェッカーで検査を実施します

○ 株式会社 G-CROSS様にインタビューに答えていただきました！！

Q 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 弊社が飲酒運転撲滅の取組をスタートさせることになったのは2012年12月に自動車教習所で行われたイベントがきっかけでした。

ここでNPO法人はあとスペースさんと出会い、飲酒運転事故の悲惨な現状を教えていただき、車と保険を生業にしている私たちに何が出来るかを会社に持ち帰り考えました。

その後、はあとスペース代表山本さんに弊社社員と運転代行ドライバーに向けての講演会を開いていただき、少しずつできることから取り組んできた結果、現在に至ります。



飲酒運転撲滅関連イベントに積極的に参加しています

Q 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A 取組以前も、漠然と飲酒運転はよくないという意識はあったと思いますが、取組後は自分に置き換えて考えられるようになってきていると感じています。

社員間でも、お酒のアルコール単位の話や、昨夜飲んだお酒が今朝の何時まで残っていたというような具体的な話が出ています。

業務のためのみならず、それぞれの社員のためにも取り組んでよかったと思っています。

Q 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A 飲酒運転は犯罪ですが、お酒は中毒性が高いため、それぞれの認識や意識は理性や理論で抑え込めるものではないと思います。

自覚を促すだけでなく、具体的な方法(講演会やメディアからの発信など)で周知していくことが大切ではないでしょうか。

弊社も微力ながら福岡の飲酒運転撲滅に向けてこれからも取り組んでいきたいと考えています。